

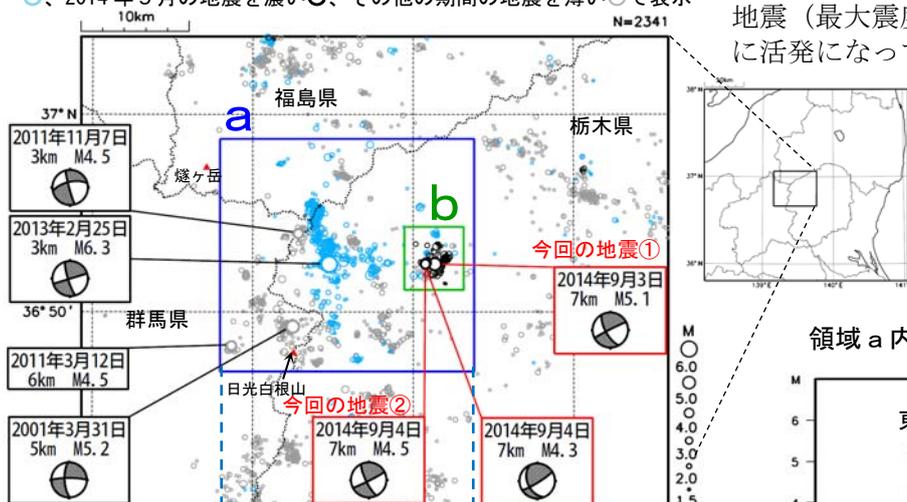
9月3日、4日 栃木県北部の地震

2014年9月3日16時24分に栃木県北部の深さ7kmでM5.1の地震(最大震度5弱、①)が発生した。この地震は地殻内で発生した。発震機構は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。この地震の発生後、震度1以上を観測した余震が9月末までに30回発生した(最大震度別の回数は、震度4:1回、震度3:2回、震度2:6回、震度1:21回)。このうち、最大規模の余震は4日05時34分に発生したM4.5の地震(最大震度4、②)である。また、4日05時36分にはM4.3の地震(最大震度3)が発生した。その後、余震活動は減衰してきている。

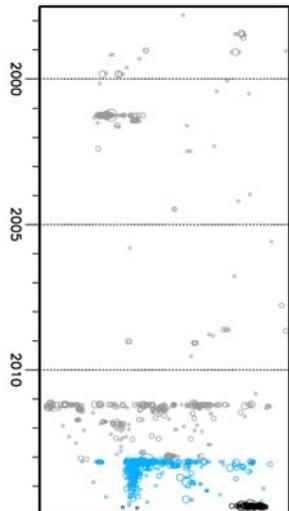
震央分布図

(1997年10月1日~2014年9月30日、深さ0~20km、M≥1.5)

2013年2月25日(M6.3の地震発生)から2014年8月までの地震を青い○、2014年9月の地震を濃い○、その他の期間の地震を薄い○で表示

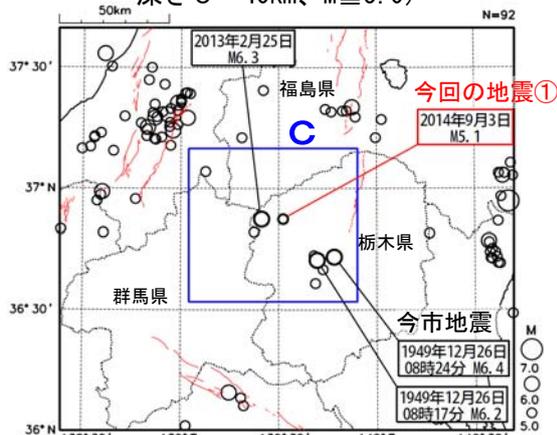


領域 a 内の時空間分布図 (東西投影)



震央分布図

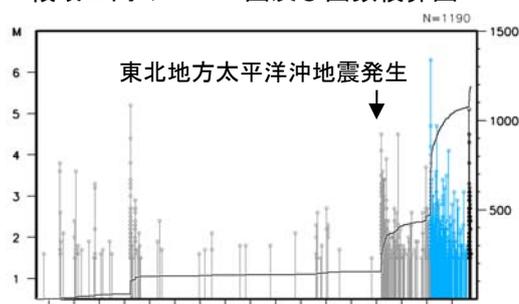
(1923年1月1日~2014年9月30日、深さ0~40km、M≥5.0)



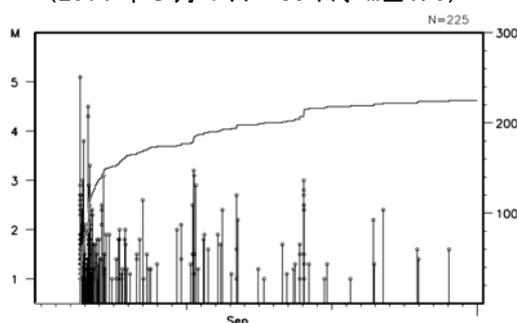
図中の細線は、地震調査研究推進本部による主要活断層帯を示す。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近(領域a)では、「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」発生以降、活動が活発になっており、2013年2月25日にM6.3の地震(最大震度5強)が発生した以降は、さらに活発になっている。

領域 a 内の M-T 図及び回数積算図



領域 b 内の M-T 図及び回数積算図 (2014年9月1日~30日、M≥1.0)



1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、1949年12月26日に今市地震(M6.2、M6.4)が発生しており、死者10人、負傷者163人、住家全壊290棟などの被害が生じた(「日本被害地震総覧」による)。

領域 c 内の M-T 図

